令和８年度西蒲区おれんじフォーラム 第２弾

認知症の方が暮らしやすい地域とは
～私たちでつくる共生社会～

このフォーラムでは、認知症について正しく理解し、認知症の本人やご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、私たち一人ひとりにできることを一緒に考えます



認知症本人大使「希望大使」
丹野　智文　氏



脳科学者・学術博士
恩蔵　絢子　氏



福祉ジャーナリスト
町永　俊雄　氏

令和9年2月14日（日）
13:30～16:30（13:00開場）

会場:巻文化会館
申込締切:1月29日（金）
参加費:無料定員:500名
手話通訳・要約筆記あり

【プログラム】
第1部　講演　「地域で暮らし続けるための備え」
認知症本人大使　丹野智文　氏
第2部　講演　「脳科学者が経験した家族介護」
脳科学者・学術博士　恩蔵絢子　氏
第3部　講演　「改めて『認知症とともに生きる』を捉え直す」
福祉ジャーナリスト　町永俊雄　氏
第4部　トークセッション
「認知症の方が暮らしやすい地域とは～私たちでつくる共生社会～」

主催：西蒲区おれんじ実行委員会
（新潟市西蒲区、地域包括支援センター巻、まき福祉会、新潟南福祉会、愛宕福祉会、遊生会、ライフパートナーかくだ山、西蒲区社会福祉協議会）

後援：新潟県、新潟市老人クラブ連合会、認知症の人と家族会新潟県支部、新潟県介護福祉士会、新潟県社会福祉士会、新潟県精神保健福祉家族会連合会、新潟県介護支援専門員協会、新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会、新潟県ホームヘルパー協議会、新潟市薬剤師会、西蒲区在宅医療ネットワークの集い、新潟県看護協会、巻信用組合

【講師プロフィール】



認知症本人大使「希望大使」
丹野　智文　氏

1974年宮城県生まれ。ネッツトヨタ仙台勤務。39歳の時に若年性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後は営業職から事務職に異動し、勤務を続けながら不安を持っているご本人のためにもの忘れ総合相談窓口「おれんじドア」字実装委員会代表を務める。



脳科学者・学術博士
恩蔵　絢子　氏

脳科学者・学術博士。
東京工業大学大学院理工学研究科知能システム科学専攻後後期博士課程修了。東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。
認知症の母親との暮らしを通して、認知症の人の言葉や行動、感情の背景を脳科学者の視点からわかり易く発信している。



福祉ジャーナリスト
町永　俊雄　氏

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」「NHKスペシャル」などの情報番組キャスターを担当。2004年から「福祉ネットワーク」キャスターとして、障がい、医療、うつ、認知症などの福祉課題を伝える。現在は、福祉ジャーナリストとして高齢社会や共生社会、地域福祉をめぐり、各地でシンポジュームや講演活動をしている。

【参加申込書】

申込締切　令和9年1月29日（金）

参加者名	電話番号

電話　0256-73-3356
FAX　0256-72-3133
電話・FAXまたは2次元コードで申込みください

2次元コード
申込み

巻文化会館 大ホール
巻駅から約500m(徒歩7分)
※駐車場に限りがあります。
できるだけ公共交通機関でお越しください。

会場周辺地図



お問い合わせ・お申込み
西蒲区社会福祉協議会

TEL：　0256-73-3356
mail：　ward-csw.nsk@syakyo-niigatacity.or.jp